

高耐震 + 制振のハイブリッド工法

『ハイブリッドキューブ』

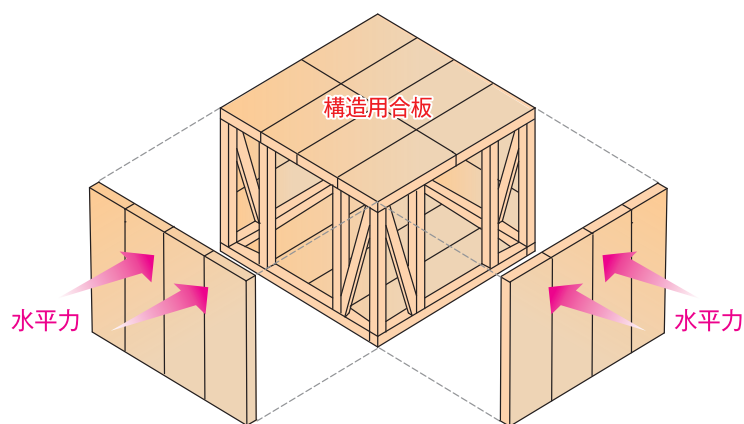
『ハイブリッドキューブ』工法は、細田工務店独自の高耐震6面体構造に、制振性能をもち、国土交通大臣の認定を初めて受けた壁倍率5倍の耐震性能をもつ耐震壁「延樹・ブランチ」を採用した工法です。

この新工法は、これまでと同様の住宅性能表示制度（設計評価）で最高の耐震等級「3」の性能に加えて、繰返し発生する大地震に対して建物の変形を低減することができるため、損傷を軽減し建物の長寿命化につながります。

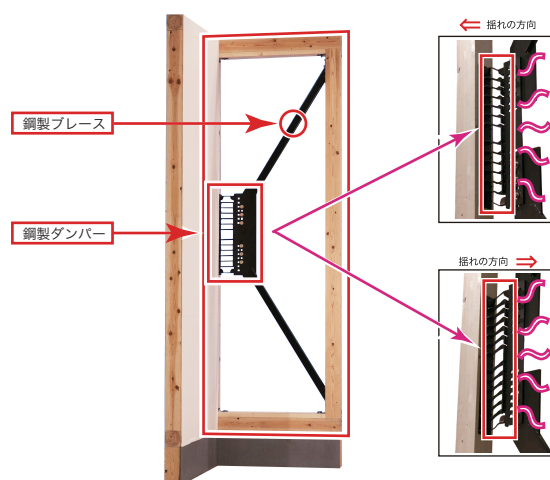
これまで標準としていた
高耐震工法

+

耐震性能をもつ耐震壁
「延樹・ブランチ」



筋かい・火打ち梁に加え、壁・床に構造用面材を張ることで剛性を高めた、地震・台風などの水平力に強い『6面体構造』



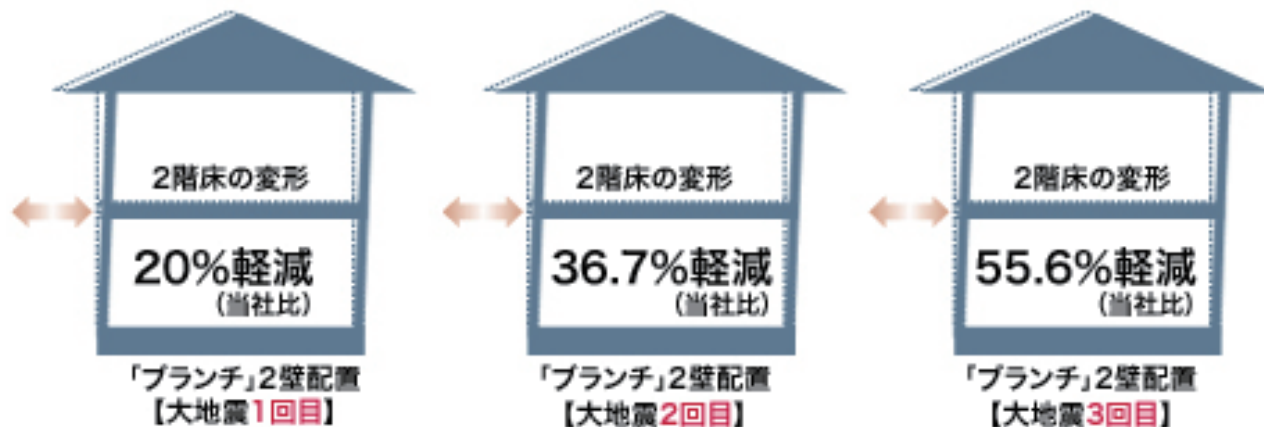
鋼製ダンパーが地震のエネルギーを熱エネルギーに変換して建物の変形を軽減

高耐震 + 制振の性能を併せもつ住宅が、自由度の高い間取りで実現できます。

耐震壁「延樹・ブランチ」は、1枚の壁で制振性能と耐震性能を発揮できるため、小規模な住宅においても窓などの開口部を十分に確保しながら、バランスのとれた設計が可能になります。

耐震壁「延樹・ブランチ」の特長

ハイブリッドキューブ工法のモデルでは、繰返しの大地震が発生しても、損傷度は極軽微のレベル。



＜地震解析結果より抜粋・耐震モデルは、耐震等級3・建築基準法が想定する大地震（震度6強程度）における解析＞

「延樹・ブランチ」は、(株)住宅構造研究所と東京工業大学 笠井教授により共同開発された国土交通大臣認定、「壁倍率5倍」の耐力評価を初めて受けた制振性能を併せ持つ耐震壁です。